

みてるの

永平寺町議会
だより



第63号

INDEX

令和3年7月16日発行

2050年脱炭素社会へ 2~3P

そこが聞きたい!

議員11人が一般質問 P11~16

議会活動レポート P18



永平寺町議会
facebook

永平寺町議会 検索

大堰の夕日
写真提供 諏訪間 坪川 良一さん

2050年脱炭素社会へ

「2050年度までの脱炭素社会実現」を明記した改正地球温暖化対策推進法が成立

改正ポイント

- ・基本理念に「2050年までの脱炭素社会の実現」を明記
- ・自治体が促進区域を設け、再生可能エネルギー普及と地域活性化につなげる「地域脱炭素化推進事業」を創設
- ・促進区域は環境保全に配慮し、住民の意見を踏まえて設定
- ・地域貢献策などの要件を参入事業者が満たせば手続きを簡素化
- ・都道府県などがつくる計画に再生エネ導入目標を盛り込む

自治体 ← 認定事業に伴う簡素化手続きを
↑ 計画提出 ↓
再生エネ事業者

中間目標

国……………2030年度に2013年対比46%削減
永平寺町…永平寺町地球温暖化対策自主計画により2030年度までに2013年度対比40%削減

	2013年度基準	2023年度中間目標	2030年度目標
温室効果ガス排出量	5265.4t	4260.5t	3159.2t
削減量	—	1004.9t	2106.2t
削減率	—	19%	40%

永平寺町の低炭素化に向けた取り組みと進捗は

- ◆2019年 バイオマスボイラーの導入
→ サンサンホールと翠荘に導入 **17%減**
バイオマスボイラー(翠荘)
- ◆2020年 タブレット導入(103台)によるペーパーレス化
→ 議案書を含む会議資料のペーパーレス、アンケートの電子化
- ◆行政手続きの見直し → 押印廃止を実施
- ◆蛍光灯のLED化 → 関係課で協議中
- ◆再生可能エネルギー → 自然環境や地域特性を考慮し検討
 - 太陽光発電……冬季は降雪、曇天や雨天が多く日照時間に問題
 - 小水力発電……協議してきたが厳しい状況
 - 風力発電……適した風が吹かない

問題点

Zen Drive 太陽光発電設備・回生電力(鉄道)システムを永平寺口駅、古市変電所、自動走行車庫屋根部に設置
- ◆可燃ごみの減量化 → 2020年 雑紙の分別回収による紙のリサイクル
2021年 段ボールコンポストによる生ごみの肥料化モニター

補助制度 電気式生ごみ処理器補助(購入価格の2/3以内の額 上限2万円)
コンポスト・ボカシ容器補助(購入価格の1/2以内の額)

1 ダンボールコンポストの利用

ダンボールコンポストとは、ダンボール箱を利用した生ごみ処理器で、ダンボール箱に土壌改良材を入れ、好気性(酸素を必要とする)微生物の力によって生ごみを分解し、堆肥にするもの。

一人一人が削減する二酸化炭素の量は少ないけれど、みんな協力すればそれなりの量が削減可能

生ごみの投入

- ・投入期間は3か月から6か月間
- ・家庭から出るほとんどの生ごみが投入可能
- ・1日500g程度が目安
- ・貝殻は分解しないので投入不可
- ・玉ねぎの皮、卵の殻、トウモロコシ、筍の皮は分解されるのに時間がかかる

熟成

- ・投入が終了した時点では堆肥ではありません。
- ・熟成期間が必要。夏季で2週間から1か月、冬季で1か月から2か月程度。この間に1週間に1回程度500mlから1ℓの水分を加え、基材全体をよく混ぜて分解を促進する。水分を加えても温度の上昇が無ければ熟成完了となる。

堆肥

- ・堆肥と土を「1」：「4」程度で混ぜて畑や花壇で利用



2 雑紙の分別回収

対象となる雑紙	対象外	回収
包装紙・封筒・カレンダー・ワイシャツの台紙などの紙類	防水された紙・汚れた紙・感熱紙(レシート)は可燃ゴミへ 新聞紙・雑誌・ダンボールは幼児園や学校で古紙回収へ	資源ごみの収集日に紙袋(持ち手も紙の物)に対象の雑紙を入れてごみステーションの回収用ネット袋へ



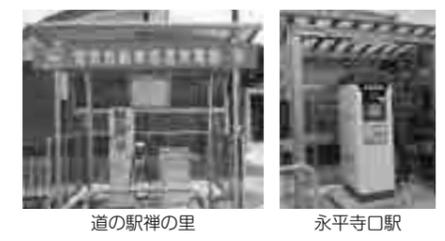
3 電気自動車の導入

電気自動車導入に伴うCO2削減量

CO2排出量(t) = 燃料使用量 × 単位発熱量(34.6) × 排出係数(0.0183) × 単位換算(3.666667)

車をガソリン車から電気自動車にすると年間1.3トンの二酸化炭素排出量を削減

- ◆永平寺町では現在、えちぜん鉄道永平寺口駅、道の駅禅の里にEV車急速充電器が設置されています。



町民の皆さんお一人お一人が出した生ごみは自分で処理して堆肥として利用することを実行していただいたり、可燃ごみとして捨てる紙を分別回収すれば、リサイクルをして再生紙として利用することができます。最先端技術を駆使した電気自動車の購入価格はまだまだ高価ですが、街中や近場を走るだけであれば、手ごろな価格で入手が可能です。みんなで協力して脱炭素社会実現に向けて行動しましょう。

町民みんながチャレンジ

議案第42号 松岡東幼児園リフレッシュ改修工事(建築)の請負契約締結について

- ・契約方法…条件付一般競争入札
- ・契約金額…9,486万円



松岡東幼児園増築建物の安全確認について

盛り土の場合法尻30度線以下に荷重を負担させることが必要であるため、建物の荷重を鋼管杭により4m下の地山(N=50)まで下がった所へ負担させる(地盤調査の結果)ことにより、荷重は地山へ伝達され、擁壁に負担がかかりません。

また、地表排水は擁壁頭に側溝が施工されていて一括排水路へ排水されていますから地下浸透による地盤沈下も現在まで見られていません。

よって、この工法を建築確認申請時の協議により安全が確認されたため、日本ERI確認機関から建築許可となりました。

主な質疑応答

問 幼児園運営の中で、園児に影響は。駐車場、擁壁工事を含めると総額は。増築リフレッシュ工事より擁壁補強が先ではないか。

答 工事は土・日を中心に基本実施。園児に影響がない様対応する。

建築・電気・機械工事総額1億3182万円。駐車場整備費は404万円。

擁壁の補強は、大地震と河岸浸食に対応。

工事は、特殊工法(パイプ工法)を検討し、令和3年12月補正にて対応。

議案への賛否討論

賛成討論 江守 勲
議案第42号は、工事の仮契約から本契約への変更であり、工事の工法や安全性を確認した。現在、松岡東幼児園に通っている園児の安心・安全を守るための工事であり、今後も必要対策を取る事をしっかりと確認したので賛成する。

反対討論 金元 直栄
町のハザードマップが3月に示されたが、当時から、園はより安全な地域に移転すべきだ。リフレッシュ工事に15億円。さらに擁壁工事に数千万円となる。より安全なところへ移転し、新築すべきだ」と指摘してきた。

賛成討論 滝波登喜男
東幼児園を増築し、松岡小学校区の3つの幼児園の一つとして残すことに、そもそも反対。加えて、擁壁工事をはじめに行い、土台をしっかりしてから増築するのが物の道理。園児の安心・安全を考えると、おかし。

賛成討論 酒井 秀和
松岡東幼児園リフレッシュ改修工事について、行政は議会の指摘を考慮し、町長、子育て支援課長を中心に十

反対討論 長岡千恵子
分慎重に対応してきたと考えている。私は今いる子ども達に少しでも早く安心、安全の提供をお願いしたく、さらに慎重にこの工事を進めていただきたいと思っています。

賛成討論 酒井 和美
これまで目視調査、地質調査を行い、その上でパイプ工法が提案された。行政として安全性を確保して建物を建てること、また、擁壁工事を行うことを示されている。議会においても3月承認した工事の入札を行うものがあり、適切に入札も行われている。0歳児受入れが可能となり東園の要望は今後増えていくものと思う。

令和3年 第3回臨時会報告

議長 奥野 正司

令和3年3月30日永平寺町議会臨時会が4月22日(木)に開催され、審議された内容は次のとおりです。

令和2年度 最終専決補正予算審議報告

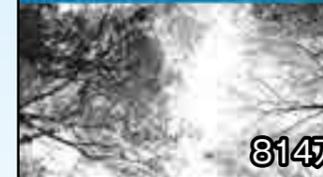
【主な項目】

すこやか子育て支援基金積立



984万円

森林環境譲与基金積立



814万円

一般会計補正予算

総額 2,822万円

新生児特別給付金



125万円

主な質疑応答

問 山王地区2区画が売却出来ない要因は。すまいる定住の内訳は。森林環境譲与税の事業費は1000万、積立800万。今後は森林整備の考えは。

答 業者に仲介を依頼。販売の委託ではなく、販売に繋がらなかった。今後は検討する。

すまいる定住78件。277人。転居43件。153人。転居35件。124人。御陵2件。吉野1件。松岡53件。永平寺北・中・南各5件。上志比7件。森林環境譲与税は、今後の総括管理の意向調査を進めて対応する。

【歳入】

特別地方交付金 1億9,300万円

臨時道路除雪費補助金 6,500万円

※歳入は財政調整基金2億5,896万円を繰入金とし、コロナ感染症等、事業内容の調整と査定により総額2,822万円とする。

国民健康保険特別会計 一般被保険者療養給付増額

2,998万円

後期高齢医療保険特別会計 保険料改定による増額

1,983万円

土地開発事業特別会計 2区画未売却による減額

△895万円

令和3年度 一般会計補正予算審議報告

【令和3年度一般会計専決処理】

学校給食管理運営費他



255万円

主な質疑応答

問 学校給食調理員3名を人材派遣にする件。今後は直接雇用を考えて条件整備が必要ではないか。

答 直接雇用が一番と考えている。時給も他市町より高い。調理の仕方、今は自校方式を維持するために検討していく。

第3回臨時会議案

承認第3号 令和2年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認	承認第7号 令和3年度一般会計補正予算の専決処分の承認について	承認
承認第4号 令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算の専決処分の承認について	承認	承認第8号 税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
承認第5号 令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算の専決処分の承認について	承認	承認第9号 債権管理条例等の一部を改正する条例の専決処分の承認について	承認
承認第6号 令和2年度土地開発事業特別会計補正予算の専決処分の承認について	承認	議案第42号 松岡東幼児園リフレッシュ改修工事(建築)の請負契約締結について	可決

議案への賛否一覧 議席順に掲載(賛 賛成 反 反対 一 欠席 □ 退席)※議長(奥野正司)は採決に加わりません

	松川	上田	中村	金元	滝波	齋藤	江守	伊藤	長岡	川崎	酒井和	酒井秀	朝井
議案第42号	賛	反	賛	反	反	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案7件については全員賛成です。

令和3年第2回議会防災訓練実施

総務産業建設常任委員会

委員長 酒井 秀和

令和3年4月13日、5月17日、6月15日に委員会を開催し、それぞれの項目について議論した。

1 年間テーマ ア 議会と防災対応

令和3年5月17日に議会防災訓練を実施し、出水期災害をテーマに議員の安否確認と近隣河川危険箇所との共有を実施した。防災訓練当日福井県には大雨警報が発表されていたため大変危険な状況下にあったが、災害時は自助・共助を優先し、現場確認の写真は出来るときに実施すること、および災害時の混乱を解消するため場所などを明確にするよう議員間で共有する必要があることを確認した。次回議会防災訓練は台風をテーマに8月実施予定。

令和3年度より自主防災組織と地域防災力の向上について意見交換会を実施する。第1回は令和3年7月1日に実施予定。

イ 地元商店街の活性化
永平寺町商工会と年間2回の意見交換会を実施する。3回目の意見交換会は8月上旬に実施予定。



議会防災訓練当日の九頭竜川

2 事務事業検証
事務事業検証については、令和3年度の施策を3班に分かれて確認した。また、えい坊館の管理運営については全員協議会で、公共施設再編計画については議会・行財政改革特別委員会で実施するよう依頼した。

3 その他
総務産業建設常任委員会視察についてはコロナ禍での県外先進地視察を困難と判断し、その方向性と内容及び場所について後日検討することとした。

事務事業報告、学校の在り方協議

教育民生常任委員会

委員長 金元 直栄

6月定例会中の当委員会は、6月15日、全員の参加で開催され、主に事務事業検証の取り組み状況が報告された。理事者の出席はなかった。

①教育コンピューター整備事業
5月中には小・中学生全員に1500台のタブレットが配備され、ギガスクールサポート運営委員会を設け、活用の研修も開催されていること。課題として通信環境のない家庭への支援や、児童クラブへの環境整備など報告され、今回は現場視察を計画。

思った以上に取り組みされていると報告された。

②ごみの減量化とCO2削減
ごみの減量化では、生ゴミ処理の一つとして、ダンボールコンポストの普及が算化されていることから、5月末に開催された講習会に議員も参加、体験が報告された。

CO2削減では、町公用車のCO2削減として、電気自動車や水素燃料



他に6月25日に学校のあり方検討委員会と議題となるアンケート結果報告について協議。

議案への賛否討論

賛成討論 江守 勲

この条例改正は、要支援者1〜2に係る基準の改正であり、介護職の人員確保が困難な状況で、コロナの影響により海外からの人員確保も厳しくなっている。やはり、人員配置の緩和は必要である。ただ、災害時にも利用者の受け入れはされ事業者の負担は増えるが、利用者はサービスを受ける事が出来るので賛成する。

反対討論 金元 直栄

今回の4つの条例改定は、感染症対策やコロナ禍で人材確保ができないからというが、①介護の現場で働く人達の待遇があまりに低いことが最大の要因。②基準の緩和は、夜勤など働く人達の労働強化につながり、さらに敬遠されることになる。見過ごせず反対だ。

賛成討論 酒井 和美

コロナ感染症拡大・頻発する災害時において通常時と同じサービスを維持することが大変困難な中で、人材不足も困難に拍車をかけることであり、実際感染症対策ではICTの積極的活用によりこれを補う現場が現れており、条例改正によりこれら現場を支えるものと考ええる。

第4回定例会議案

報告第1号	議案第43号	議案第44号	議案第45号	議案第46号	議案第47号	議案第48号	議案第49号	議案第50号	議案第51号	議案第52号	議案第53号	議案第54号	議案第55号	議案第56号	議案第57号	議案第58号	議案第59号	議案第60号	議案第61号	議案第62号	議案第63号	議案第64号	議案第65号	
令和2年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	令和3年度一般会計補正予算について	令和3年度介護保険特別会計補正予算について	令和3年度上水道事業会計補正予算について	附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	指定居宅介護支援等の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	指定介護予防支援等事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	農業委員会の委員の任命同意について	損害賠償の額を定めることについて														
	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	可決	同意	可決														

議案への賛否一覧 議席順に掲載 (賛 賛成 反 反対 一 欠席 □ 退席) ※議長(奥野正司)は採決に加わりません

	松川	上田	中村	金元	滝波	齋藤	江守	伊藤	長岡	川崎	酒井和	酒井秀	朝井
議案第47号	反	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第48号	反	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第49号	反	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第50号	反	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等19件については全員賛成です。

そこが聞きたい! 問&答

6月定例会 一般質問

11名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

伊藤 博夫 … 11P	松川 正樹 … 12P	酒井 秀和 … 12P
朝井征一郎 … 13P	江守 勲 … 13P	川崎 直文 … 14P
齋藤 則男 … 14P	長岡千恵子 … 15P	上田 誠 … 15P
金元 直栄 … 16P	滝波登喜男 … 16P	

一般質問 目次

議会・行財政改革特別委員会報告

委員長 江守 勲

事務事業検証テーマの取り組み開始

令和3年4月5日に、議会・行財政改革特別委員会を開催し、令和3年度当初予算に係る事業から、事務事業検証項目を常任委員会ごとに抽出し検証を行う。
検証は、項目ごとに担当議員を決め、月に1回程度行政の担当課とヒアリングを行い事務事業検証の取りまとめをし、令和4年度当初予算に反映されるよう11月下旬に町長に議会意見書を提出する。

■総務産業建設常任委員会関係

●自動走行・IT拠点
(自動走行推進事業・IT拠点施設運営事業)
担当議員：松川、川崎

●空き家対策関連事業
(移住定住促進事業・住宅支援事業)
担当議員：中村、酒井秀和、奥野

●ふるさと納税事業
担当議員：齋藤、伊藤

■教育民生常任委員会関係

●ギガスクール
(小中学校コンピュータ整備事業)
担当議員：上田、江守、酒井和美

●環境
担当議員：金元、滝波、長岡、朝井

○5月～10月 事務事業検証の実施(随時)
○11月 とりまとめ・確認

・11月上旬 各常任委員会とりまとめ
・11月中旬 特別委員会提言とりまとめ
○11月下旬 提言書を町長に提出

■議会タブレット導入について

5月24日の全員協議会で、6月議会の一般質問より議員全員がタブレットを使用出来る事を確認した。
今後は、議会IT化プロジェクトチームにおいてタブレット研修を行う。



事務事業検証スケジュール表(抜粋)

令和3年 大雪災害総括

総務産業建設常任委員会
委員長 酒井 秀和

令和3年5月17日に、永平寺町の令和3年大雪災害総括が取りまとめられたことから、防災安全課、建設課を招いて合同常任委員会を開催した。

■雪害の状況

令和3年1月7日から10日明け方にかけて継続的に雪が降り続き、福井県嶺北地方を中心に大雪となった。また、永平寺町では6時間で32cmの積雪を観測、8日の降雪の深さが63cmとなり、1月として1981年の統計開始以降、第1位の記録となったこと、福井県内では人的被害や、北陸自動車道の通行止めなどの交通障害が多数発生したという報告を受けた。



国道416号 牧福島の渋滞

■主な確認事項
問 排雪場所が少なく除雪作業が滞ったが、今後の対策は。

答 無償で提供いただけける排雪場所を各区分長と意見交換する。
問 災害救助法の適用について、

現在の市町が申請しなければならぬ流れをどうするのか。
答 県と協議して申請方法を分かりやすくする。

問 自助・共助(近助)・公助の連携強化とあるが、具体策は。
答 防災講座、広報等で周知を図る。

問 降雪期における除雪体制はどのようになっているのか。
答 11月に関係業者と除雪会議を実施。除雪時は午前2時にパトロール、同3時除雪開始。



けやぎ台の様子

問 国道416号が優先道路、今後も同様か。
答 国道416号(オイルロード)を優先。

問 今回の大雪、短時間での積雪と強風が特徴とあるが、今後の対応は。
答 不要不急の外出を控えてもらえるようケーブルTV、LINEで事前周知。

■まとめ

今回の大雪では、平成30豪雪の教訓が生かされた部分と、新たな課題も発生した。今後は、除雪機械の増強と除雪体制を強化する。また、住民と地域、そして行政がその役割を分担しながら、防災・減災対策に取り組めるよう「自助・共助(近助)・公助」の連携の強化および推進を図る。

問 消防団の地域防災力の充実と強化

答 消防団・自主防災組織と連携



伊藤 博夫 議員

問 全国的に消防団は年々減少していると言われるが、本町の推移と現状は。

消防長 平成28年264名で、令和元年は262名と過去5年間は横ばい。

問 女性消防団員の現在の団員数は。

消防長 女性団員は14名で機能別大学生防災サポーター4名、機能別団員の減災ナースが7名の合計25名。

問 機能別消防団員と一般的な消防団員とは、どう違うのか。

消防長 機能別団員は138名だが、災害時の必要性を考慮しながら、段階的に5つの役割で任用しており、大規模災害に限定し、専門性を発揮出来る団

員。一般的団員は昼夜を問わず全ての災害や訓練等に出動する。

問 特別職の職員で、非常勤の者の報酬および費用弁償に関する条例施行規則を公布しているが、消防団員の改正はなかつたのか、また県下の動向は。

消防長 消防団の報酬および費用弁償の改正はないが、県下の平均は1万9,438円で平均に満たない消防団は2万円に引き上げを検討と聞いている。

問 消防団の充実のための施策は。

消防長 施設の強化や、機能別団員の任用の強化を施策とし、分団施設の建設、ポンプ車および積載車の更新、団員の個々の装備

品や資機材の確保と整備、防災安全課や消防団OBと連携し、更に充実を図る。

問 近年の消防団の活躍は。

町長 特に共助の部分で、自主防災組織や防災士の皆さんは年々意識が高まり、行政にも提案頂いている。消防団の一部の方は、防犯隊の役割を担い、防災関係の団体と連携していく。



行政サービスにおける連携・協働は

町民との連携・協働、民間活力活用で



川崎 直文 議員

問 第4次永平寺町

行政改革大綱の基本方針「行政サービスにおける連携・協働の推進」の実施計画は。町長 町民等との連携・協働で、住民参画機会の拡充と町政情報

の提供、多様な人材参画の推進、地区振興協議会等の設立と支援、自助・共助・公助体制の確立、地域包括ケアシステム

の構築。民間活力の活用で、幼稚園・幼稚園の民営化を検討。

問 地域包括ケアシステムの構築はどのよう

に進めるのか。福祉保健課長 地域包括ケアシステムの構築には、住まいの確保、医療サービスとの連携、介護予防の推進、介護サービスの充実、生活支援体制の充実がある。

第4次永平寺町行政改革大綱

令和3年3月 永平寺町

第4次 行政計画実施計画一覧

1 行政サービスにおける連携・協働の推進

1 町民等との連携・協働

NO.	取組項目
1	住民参画機械の拡充と町政情報の提供

1トの会が買物支援を行っている。

地域での生活を守るために新しいサービスを地域の方で互助として生み出していた。

【その他の質問】

問 安全な避難はいつ、どのように。避難情報に関するガイドラインの主な改定内容は。

答 今までの警戒レベル4の避難勧告、避難指示が、今回の改定で避難指示に一本化され、警戒レベル4で全員が避難する。

問 福祉避難所のガイドラインはいつ頃の策定か。

答 ガイドラインの策定は9月を目標。避難所の追加、福祉避難所に必要な設備や備品が提案されている。これらを検討し進める。

公共施設再編の進捗状況は

現状を把握しながら進める



齋藤 則男 議員

問 これまで再編等に取り組んできた成果は。また、計画どおりに進んでいるのか。

財政課長 施設の状態を把握しながら、今後の方向性を検討、改修した。また、活用方法についても、検討し変更した。

問 再整備された松岡公園の今後の利活用は。

建設課長 風致公園として花見シーズンをは

はじめ、散歩などで自然を楽しむことができ。また、眺めを満喫できる憩いの空間としても利用されている。

問 歴史的遺産を町の観光資源として活用できないか。

観光課長 大本山永平寺、松岡古墳群などは、観光パンフレット、ホームページなど、情報発信に努めている。また、観光客が歴史文化に触れ、周遊できる取り組みも行っている。



松岡公園

◆子ども見守り強化事業とは

問 社会福祉協議会が実施している「子ども見守り強化事業」について、どこまで関与し把握しているのか。

福祉保健課長 見守り強化事業に準じた事業を令和2・3年度に「子ども見守り宅食支援事業」として実施している。

問 コロナ禍において子どもの見守りも不足している。

経済的困窮など、支援が必要な子どもに対し支援をし、見守りをして安全を図り、早期発見につなげていきたい。

学校の一クラスの生徒数は

小学校35人、中学校32人



長岡千恵子 議員

問 国と県の基準での一クラス当たりの生徒数は。

学校教育課長 今回の法改正で今年から5年をかけて小学校の全年を35人、中学校は40人。県の基準は小学校で35人、中学校で32人。

問 特別支援学級の生徒も含まれるのか。

学校教育課長 特別支援学級の児童生徒は含まない。

問 気がかりな生徒も含めると、実生徒数は県の基準を上回るので

は。教育長 気がかりな生徒は51〜52人。県から2名の加配職員で対応している。

問 一クラスの生徒数を町独自で決めること



は可能か。

学校教育課長 基本的に県の基準どおりでない場合、県の審査が必要で、審査に通るの

問 コロナ禍で20人の少人数学級にする動きがあるか。

教育長 小学校では31

人以上のクラスに原則非常勤講師を県が加配する。松岡小は5人の非常勤講師に加え、町費で7人の学校教育支援員をお願いし、対応している。

【その他の質問】

問 全国的に出生数が減少。本町は。

答 令和元年度102人で、前年度とほぼ横ばい。令和2年度113人と増え、令和3年度115から120人と予測。

問 脱炭素に向けた取り組みは。

答 バイオマスボイラー導入で17%削減。本町にあった再生可能エネルギー導入を検討調査。雑誌回収や段ボールコンポストで生ごみ処理を行い、可燃ごみ減量化を推進。

町民への防災意識向上策は

意識向上と自主的行動のサポートで



上田 誠 議員

問 新聞に「防災マップ 浸透進まず」と載っていた。関心と意識

向上のため、子どもと一緒に考える「我が家の防災マップ」でより実践的、より身近で和

気あいあいと、コンテンツ形式で実施を。災害の前・時・後の活動をチェックシートとフ

ローチャートにまとめた防災チェックマニュアルを作り、ゲーム感覚で活用を。

防災安全課長 防災対策にはやり過ぎはない。意識向上には情報を伝え、地区自主防災

会と一緒に工夫しながら進める。

町長 地区防災について、正確な情報を伝え、自主的に行動していただけるようサポートする。

問 5月に改定した災害対策基本法で、災害弱者の避難方法の個別計画が規定された。自主的計画も含めた日程は。

防災安全課長 全国でも1割程。福祉保健課と協力し、国のモデル指定を受け、地域と一緒に今年度中に一部を作成。

◆成年後見制度の支援と充実を

問 少子高齢化で、日常生活支援サービスを受けている判断力の不

◆命を守る住宅用火災警報器の取り替え促進を

問 取り替え促進は。消防長 地区自主防

問 ヤングケアラーの実態調査と対応 各課連携で対応したい



金元直栄 議員

問 ヤングケアラー問題、国の実態調査では、中高生の20人に1人程度。相談したとこない子どもたちは70%にもものぼる状況。本町の取り組みと状況は。

福祉保健課長 介護保険サービスを利用して

いる家庭では、ケアマネジャーや事業者から情報提供がある。支援相談員も同様。現在のところ確認できていない。

教育長 子どもは何かあれば必ずサインを出す。それを教職員間で共有し、対応したい。学校だけでは十分対応できない面もあり、関係課で協議の場を設け取り組みたい。

◆福祉部門の充実を
問 以前から福祉部門の充実を訴えてきた。介護保険、地域包括支援センターの運営管轄もあることから、高齢者や介護対応の課が必要。他の福祉部門がおろそかになつてはならない。特にコロナの中、福祉への期待度は高くなっている。

副町長 ワクチンは、対策チームを設け取り組んでいる。
町長 少子高齢化や社会保障の中、福祉課の業務は多くなっている。各関係課と共に分析をし今後を見据えたい。

◆都市計画見直しは
問 本町の都市計画は3つの区域に入っ



ている。特に福井都市計画区域内の市街化調整区域は、時代に合わない規制。本町の都市計画は、本町で決めるべき。
建設課長 3つの都市計画は全国にも例がない。先進地事例に学び、見直し、取り組んでいる。

問 困窮する事業者の救済を 専門家を含めたサポート体制を



滝波登喜男 議員

問 新型コロナウイルスが内産業にどのような影響を与えているのかの実態調査を行った。「売上・受注の減少」を受けた事業者が76・5%で、その内「深刻な」は36・6%もいる。また、35%が自分の代で廃業しようと考えている。とても深刻な状況だ。町は早く救済を。どのような対策をするのか。

商工観光課長 課題を抱える事業所を洗い出し、改善に向けた取り組みを専門的な知見を交えてサポートする。また、多業種間のビジネスマッチングも現在進めている。事業者単独で判断しないよう、きめ細やかな支援体制が必要と考える。



えい坊館1階スペース

◆えい坊館リニューアルに期待
問 えい坊館1階、飲食スペースの運営業者変更の狙いは。また、応募業者の提案内容は。

町長 飲食スペースに250万円の件費を要したことや、民業圧迫となっていないか、今一度見直した。本日前中の業者選定委員会で、応募業者一社の提案を受け、J Aさんに決定した。農産物や物産品、えい坊館の魅力をどんどん発信して

◆わいせつ行為の実態把握は
問 わいせつ教員対策法が成立した。子どもへのわいせつ行為で懲戒免職となる教員が増えている。県内でも発生しているが、本町の実態把握は。予防や早期発見・早期対策に努めているか。
教育長 今まで、教員によるわいせつ行為の報告は受けていない。私は常に「全教員で一人の子どもの見なさい」「気になる生徒は全職員が共有し、SOSのサインを絶対見逃さないよう」校長会で訴えている。これから継続していく。

議会改革レポート

～若者が参加しやすい議会に向けて～



【1】第4回定例会より議会にてタブレット導入開始。

これまでの議会IT化の歩み

- H23 ホームページ開設
グループウェア開始
メール連絡開始
- H24 Facebook運用開始



R3.6.4 操作研修会



R3.6.8 定例会導入

H30 議会改革特別委員会にて、タブレット導入テーマ採択。IT化プロジェクトチームを発足、越前市議会視察。
H31 愛知県豊川市議会視察以降、IT化PT会議13回、議会改革PT会議8回、議会改革特別委員会11回と、計32回協議を重ねながらタブレット運用規定を策定し、タブレット導入に至りました。

機種はiPadPro (12.9インチ、128GB,iPadOS14,Wi-Fi)です。

コロナ感染症対応地方創生臨時交付金(国費10/10)で導入されました。

議会活動においてもコロナ感染症拡大の影響は大きく、視察研修や委員会活動の回数を減らしています。タブレット導入により、オンライン視察を行ったり、オンライン委員会が開催できるよう会議規則を改正する議会も増えてきています。また今後災害時の活用も期待されており、永平寺町議会も災害時対策を検証中です。

タブレットをどう使うの？

議員は任期中、議会活動のため、議長よりタブレットを貸与され、以下の通り使用するよう定められています。また安全運用のため、運用規定には禁止事項を設けており、使用アプリも制限され、個人的議員活動のための使用は認められません。

- 議案・予算決算書・会議資料等 閲覧
- 行政視察等における資料閲覧
- 町ホームページの情報閲覧
- 例規集・法令検索による情報検索
- 議員相互及び町との情報伝達
- 災害時等の緊急情報伝達 他

『永平寺町議会タブレット運用規定 第1版』より

【2】町議会会議規則改正 産休の定め、押印の見直し

令和3年2月9日付け「標準」町村議会会議規則一部改正について同16日福井県町村議会議長会より通知を受け、永平寺町議会会議規則の一部改正について第2回定例会において審議し全議員一致で可決されました。

改正① 男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産・育児・介護など議員として活動するに当たっての諸要因に配慮するため、育児・介護など議会への欠席事由を整備するとともに、出産については母性保護の観点から出産に係る産前・産後の欠席期間として「出産予定日の6週間（多胎妊娠の場合にあつては、14週間）前の日から当該出産の日後8週間を経過する日までの範囲においてその期間を明らかに」と規定する。



改正② 請願について、利便性向上のため請願者の「押印」の義務付けを見直し、「署名」又は「記名押印」に改めた。

議会活動報告



えちぜん鉄道小舟渡駅周辺土砂崩れ

勝山市議会・永平寺町議会合同要望活動

令和3年3月2日午後1時45分頃発生した一般県道藤巻下荒井線法面の土砂崩れにつきまして、3月24日、永平寺町議会はえちぜん鉄道小舟渡駅周辺の復旧工事現場の視察を行い、同30日には奥野議長と勝山市議会松山議長が県庁を訪問し、県知事・県議会議長宛てに要望書を提出し、「県道藤巻下荒井線とえちぜん鉄道運行が1日も早く安全に通行・運行再開できるよう、県道藤巻下荒井線法面の復旧工事施工を支援すること」を要望いたしました。えちぜん鉄道勝山一山王駅区間は夜間工事などにより工期短縮され無事4月6日運行再開の運びとなりました。

議会・各委員会の議員出欠状況

令和3年4月5日～令和3年6月21日

議員名(議席番号順)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	松川 正樹	上田 誠	中村勘太郎	金元直栄	滝波登喜男	齋藤則男	江守勲	伊藤博夫	長岡千恵子	川崎直文	酒井和美	酒井秀和	朝井征一郎	奥野正司
出席回数	19	19	17	20	21	17	22	20	16.5	17	22	22	18	17
会議回数	19	19	17	20	22	17	22	20	17	17	22	22	19	17
出席率	100%	100%	100%	100%	95%	100%	100%	100%	97%	100%	100%	100%	95%	100%

No.	日付	会議名	○…出席	×…欠席	—…員外	△…遅・早	研…研修	傍…傍聴	弔…弔事
1	4/5	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
2	4/12	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	○
3	4/12	教育民生常任委員会	—	○	—	○	—	○	—
4	4/13	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	○	—	○
5	4/16	議会広報特別委員会	○	○	—	×	—	○	×
6	4/20	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
7	4/22	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
8	4/22	本会議	○	○	○	○	○	○	○
9	5/11	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	○
10	5/17	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	○	—	○
11	5/17	合同常任委員会	○	○	○	○	○	○	○
12	5/17	教育民生常任委員会	—	○	—	○	—	○	○
13	5/17	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
14	5/24	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
15	5/24	議会運営委員会	—	—	—	○	○	—	○
16	6/1	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○
17	6/4	タブレット研修会	○	○	○	○	○	○	○
18	6/8	本会議(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○
19	6/9	本会議(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○
20	6/9	議会広報特別委員会	○	○	—	○	—	○	○
21	6/11	本会議	○	○	○	○	○	○	○
22	6/15	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	○	—	○
23	6/15	教育民生常任委員会	—	○	—	○	—	○	○
24	6/16	本会議	○	○	○	○	○	○	○
27	6/21	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○

テレビ中継で
ご覧ください

9月定例会

(予定)

生中継

- 9月 日() 10時～ [本会議]
- 9月 日()・日()・日() 9時～ [一般質問]
- 9月 日()・日() 9時～ [本会議(第1審議)]
- 9月 日() 9時～ [本会議(第2審議)]
- 9月 日() 10時～ [本会議(第3審議)・採決]
- 9月 日() [予備日]

○日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。
○会議は傍聴することができます。
★事前申し込み不要
★バリアフリー、エレベーター完備
★ソーシャルディスタンスでの傍聴をお願いします

議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに
随時更新中!



5/17 産業構造
実態調査



6/4 タブレット講習会



6/30 志比北小
タブレット授業視察



7/1 自主防災協議会
意見交換会



7/2 議会広報特別委員会
(リモートによる研修)



7/5 坂井市視察研修
1・2・3フロアチーム



心繋がる永平寺町議会

お知らせ

あなたが撮った写真を
議会だよりの表紙に
しませんか？

私の永平寺町自慢を募集!



写真提供：坪川 良一さん



写真提供：朝井征一郎さん

あなたが大好きな永平寺町の季節ごとの風景や、誰も知らない素敵な隠れスポットをご
紹介頂いて、議会だよりの表紙にて永平寺町の魅力を発信してください。
(議会だよりは2月・4月・7月・10月の季刊発行です。)

応募方法：

メールにて「私の永平寺町自慢」の件名にて、ご住所・お名前・お
電話番号、写真を撮った場所を記載し、画像ファイル (jpg、
4000×3000px、7 MBまで、縦長) を添付の上、下記議会事務局
のアドレスまでお送りください。9月1日締切

E-mail:gikai@town.eiheiji.fukui.jp

※お名前と撮影場所を掲載させてください。

※人物が写っている場合には掲載の許可を頂いているものをご提供下さい。

※60～67号で応募していただいたお写真を表紙にさせていただく予定です。

応募多数の場合には、67号裏表紙にて掲載させていただきます。

答える 議会 議会改革レポート

ここが変わった!
議会テレビ放送!!



議会と語ろう会にて、議会の見えにくさについ
て様々なご意見をたまわり、このたび議会放送
の在り方について変更させていただくこととな
りました。



POINT

議会の翌々月1日より
順次放送します。

3月議会→5月1日

6月議会→8月1日

9月議会→11月1日

12月議会→2月1日

第4回定例会の放送は
令和3年8月1日より、
一般質問から順次
放送いたします。
こちら「みての!」



1日2回同じ内容を放送



朝6時



夜12時

議会中継
録画予約
しよ!!



※放送日程の詳細は、リモコンの番組表を押してご確認ください。

また今後Youtubeにて議会中継動画を配信予定です。

ただけだろうか。
全議員が一般質問する当議
会、全国・県下でもなく、多
忙な議会の一つである。今後
とも議会だよりの「みての」を
ご愛読下さい。(上田 記)

議会広報特別委員会委員

委員長 朝井 征一郎
副委員長 酒井 和美

委員 松川 正樹・上田 勲
滝波 登喜男・江守 誠
酒井 秀和

発行責任者 奥野 正司

編集者ひと言